

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮城県 高橋町

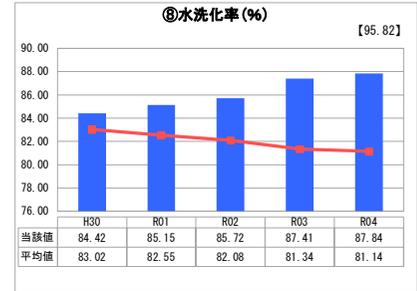
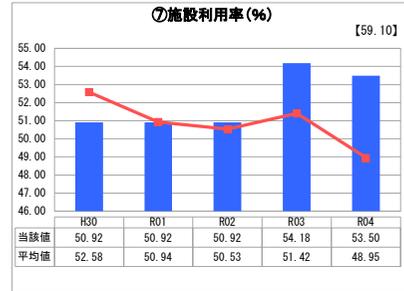
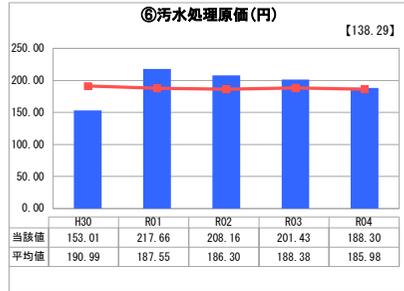
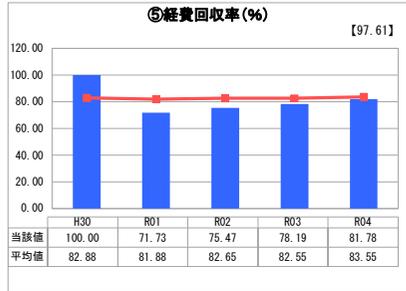
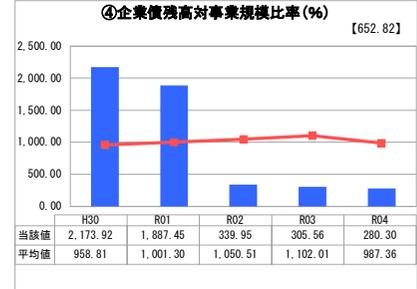
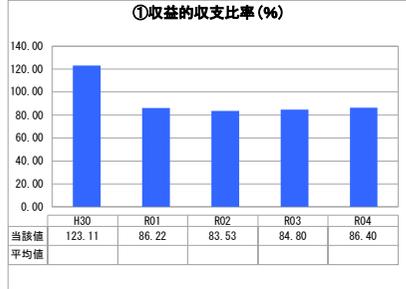
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金 (円)
-	該当数値なし	36.37	95.16	2,552

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
19,729	43.80	450.43
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
7,153	2.26	3,165.04

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、ここ数年安定していますが100%を下回っており、健全な経営状態ではありません。なお、平成30年度の数値が高いのは、大規模な企業への接続による工事負担金収入による一時的な収入によるものです。

②企業債残高対事業規模比率は、年々減少傾向にあり、また類似団体と比較しても低い水準にあります。

③経費回収率は年々僅かに増加していますが、100%を下回っていることから一般会計からの繰入金等に依存している状況といえます。

④汚水処理原価は年々減少傾向にあり、類似団体と比較しても同じような水準となっております。

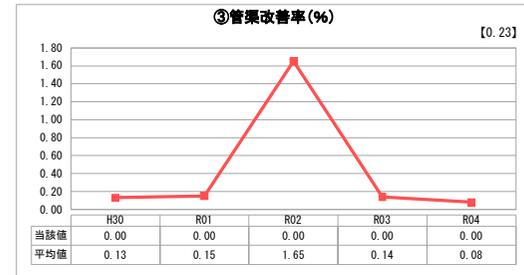
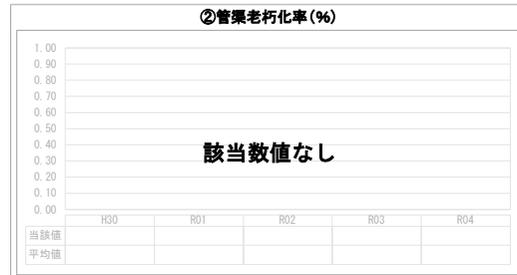
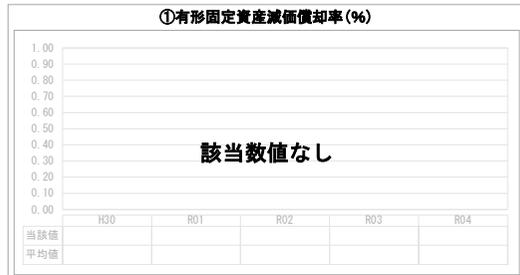
⑤施設利用率は、類似団体と比較すると高い水準となっております。比較的良好な状況といえます。

⑥水洗化率は年々上昇しており、また類似団体と比較しても高い水準となっておりますが、接続率100%を目指して取り組みを強化していく必要があります。

2. 老朽化の状況について

平成8年度の一部供用開始から28年が経過していますが、管渠等においては、まだ老朽化対策が必要な状況ではありません。

2. 老朽化の状況



全体総括

収益的収支比率及び経費回収率は、ここ数年僅かながら上昇傾向にあるものの100%を大きく下回っていることから、さらなる水洗化率の向上に努めなければなりません。

管渠等については、現在早急な老朽化対策は必要ありませんが、汚水処理施設においては修繕や更新等の維持管理費用が年々増加している状況にあることから、ストックマネジメント計画をもとに計画的な経営の運営に取り組んでいく必要があります。

また、令和5年度から公営企業会計へ移行したことから、経営戦略の改定を行い、合理的な投資や財政状況の把握、安定的な事業の継続運営に努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。